

PAPER MADE PACKAGING BOX

Publication number: JP2002068177

Publication date: 2002-03-08

Inventor: KAWASE MASAKATSU

Applicant: GREEN PACKAGE KK

Classification:

- International: **B65D5/54; B65D5/28; B65D77/30; B65D5/54; B65D5/20; B65D77/22;** (IPC1-7): B65D5/54; B65D5/28; B65D77/30

- European:

Application number: JP20000254727 20000825

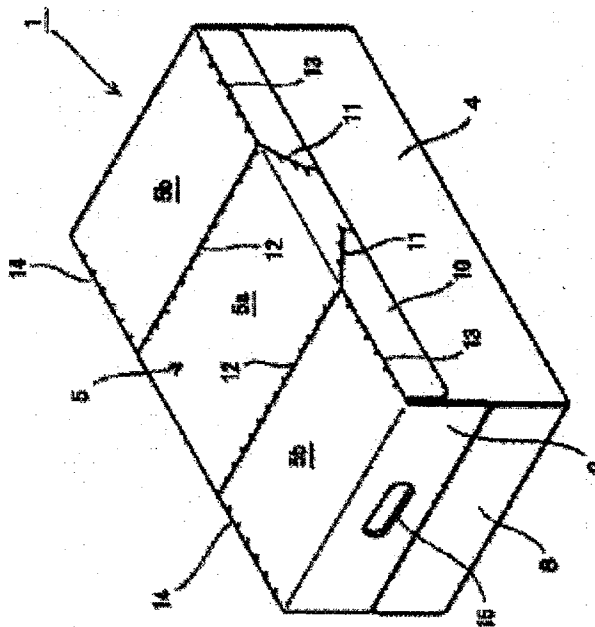
Priority number(s): JP20000254727 20000825

Report a data error here

Abstract of JP2002068177

PROBLEM TO BE SOLVED: To easily unpack a paper made packaging box which packages foods or canned liquid beverages or the like.

SOLUTION: This packaging box is composed of a bottom board 2, a pair of opposing side boards 3 and 4 which are connectedly provided at the front and back of this bottom board 2, a top cover 5 which is connectedly provided at the upper end of the side board 3 on the back side, flaps 6 and 7 which are connectedly provided at the right and left of the opposing side boards 3 and 4, flaps 8 and 9 for forming other pair of opposing side boards which are connectedly provided at the right and left of the bottom board 2 and the right and left of the top cover 5 and are pasted on the outer surfaces of the flaps 6 and 7, and a sealing flap 10 which is connectedly provided at a side on the front side of the top cover 5 and is pasted on the upper end outer surface of the side board 4. Two cut lines 11 are formed on the sealing flap 10, and two cut lines 12 which link to the upper end of the cut lines 11 and reach connection parts of the side board 3 on the back side are formed on the top cover 5. Cut lines 13 and 14 are formed at connection parts to the upper ends of the sealing flap 10 and at connection parts to the upper ends of the side board 3 on the back side on board parts 5b in the top cover 5 on both sides of the cut lines 12.



(43)公開日 平成14年3月8日(2002.3.8)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	データベース*(参考)
B 6 5 D 5/54	3 1 1	B 6 5 D 5/54	3 1 1 A 3 E 0 6 0
5/28		5/28	3 E 0 6 7
77/30		77/30	B

審査請求 有 請求項の数2 OL (全 4 頁)

(22) 出願日 平成12年 8 月25日 (2000. 8. 25)

(71)出願人 500399862
株式会社グリーンパッケージ
大阪府摂津市島飼中三丁目 3 番36号

(72)発明者 川瀬 雅克
大阪府茨木市南春日丘六丁目 1 番21号

(74)代理人 100068087
弁理士 森本 義弘

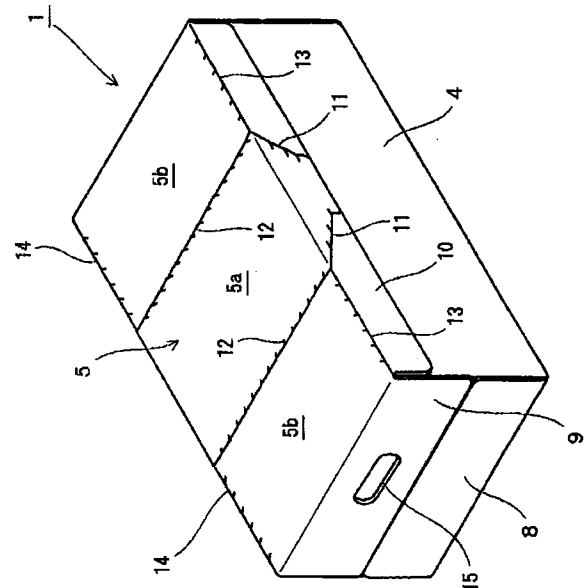
Fターム(参考) 3E060 AA03 AB13 AB18 BA03 BC02
BC04 CE04 CE07 CE14 CE22
CF05 DA14 EA06 EA13 EA20
3E067 AA11 AB01 AB81 AB99 BA06A
BA20A BB01A BB02A BC06A
EB06 EE59

(54) 【発明の名称】 紙製包装箱

(57) 【要約】

【課題】食品類や缶入り液体飲料などを包装している紙製包装箱の開梱を容易に行なえるようにする。

【解決手段】 底板 2 と、この底板 2 の前後に連設された 1 組の対向側板 3、4 と、後側の側板 3 の上端に連設された上蓋 5 と、対向側板 3、4 の左右に連設されたフラップ 6、7 と、底板 2 の左右および上蓋 5 の左右に連設されフラップ 6、7 の外面に糊付けされる他の組の対向側板形成用フラップ 8、9 と、上蓋 5 の前側の側辺に連設され前側の側板 4 の上端外面に糊付けされる封緘用フラップ 10 とからなり、封緘用フラップ 10 は 2 本のカット線 11 が形成され、上蓋 5 には前記カット線 11 の上端に繋がり後側の側板 3 との連設部に至る 2 本のカット線 12 が形成され、このカット線 12 の両側の上蓋 5 の板部 5b は封緘用フラップ 10 の上端との連設部ならびに後側の側板 3 の上端との連設部にカット線 13、14 が形成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 平面形状が矩形の底板と、この底板の前後の対向側辺に連設された1組の対向側板と、この対向側板の内、後側の側板の上端に連設された上蓋と、前記対向側板の左右両端に連設されたフラップと、前記底板の左右両端および上蓋の左右両端にそれぞれ連設され前記フラップの外面に重なって糊付けされる他の組の対向側板形成用フラップと、前記後側の側板との連設部に対向する前記上蓋の前側の側辺に連設され前記1組の対向側板の内、前側の側板の上端外面に重なって糊付けされる封緘用フラップとからなる紙製包装箱であって、前記封緘用フラップは横長さ方向中間部で2本のカット線が形成されており、前記上蓋には前記カット線の上端部に前端部が繋がって後側の側板との連設部に至る2本のカット線が形成されており、さらにこのカット線の両側の上蓋の板部は前記封緘用フラップの上端との連設部ならびに後側の側板の上端との連設部にカット線が形成されていることを特徴とする紙製包装箱。

【請求項2】 封緘用フラップの2本のカット線間の部分は前側の側板に対して糊付けされていないことを特徴とする請求項1記載の紙製包装箱。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【発明の属する技術分野】 本発明は段ボール板や板紙などの紙材からなる紙製包装箱に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来から例えば袋入りラーメン、生理食塩水入りバッグ、点滴液入りバッグ、あるいは缶ビールなどの液体飲料は搬送のために段ボール板製包装箱に詰め込まれて包装されているのが一般的である。

【0003】 そこで、このような包装状態から開梱するために包装箱の蓋（上部の板部）を開ける場合はカッターナイフなどを用意し、糊付け部を切り開いている場合が多い。しかし、手元にカッターナイフが無い場合は手で糊付け部を引き離すなどして包装箱の上端を開けている。

【0004】 しかしながら、このような作業は面倒で、手を怪我するという危険性もあった。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明はこのような課題を解決するもので、袋入りラーメンなどの食品類、生理食塩水入りバッグ、点滴液入りバッグ、あるいは缶入り液体飲料などを包装している紙製包装箱の開梱を容易に行なえるようにすることを目的とするものである。

【0006】

【課題を解決するための手段】 この課題を解決するために本発明は、平面形状が矩形の底板と、この底板の前後の対向側辺に連設された1組の対向側板と、この対向側板の内、後側の側板の上端に連設された上蓋と、前記対向側板の左右両端に連設されたフラップと、前記底板の

左右両端および上蓋の左右両端にそれぞれ連設され前記フラップの外面に重なって糊付けされる他の組の対向側板形成用フラップと、前記後側の側板との連設部に対向する前記上蓋の前側の側辺に連設され前記1組の対向側板の内、前側の側板の上端外面に重なって糊付けされる封緘用フラップとからなる紙製包装箱であって、前記封緘用フラップは横長さ方向中間部で2本のカット線が形成されており、前記上蓋には前記カット線の上端部に前端部が繋がって後側の側板との連設部に至る2本のカット線が形成されており、さらにこのカット線の両側の上蓋の板部は前記封緘用フラップの上端との連設部ならびに後側の側板の上端との連設部にカット線が形成されていることを要旨とするものである。また本発明は、封緘用フラップの2本のカット線間の部分は前側の側板に対して糊付けされていないことを要旨とするものである。

【0007】 この構成により、梱包状態の包装箱から内容物を取り出すときは、封緘用フラップの2本のカット線をカットし、その後連続して上蓋の2本のカット線をカットして、この2本のカット線で挟まれている上蓋の板部を上方に開き、この板部の両側の上蓋の板部をカット線をカットすることにより左右に開くことにより上蓋を大きく開くことができ、この状態で包装箱内から内容物を取り出すことができる。

【0008】

【発明の実施の形態】 以下、本発明の一実施の形態について、図面に基づいて説明する。図1～図4において、1は平面形状が長方形の底板2と、この底板2の長辺側対向側辺に連設された長辺側対向側板3、4と、この長辺側対向側板3、4の内、後側の側板3の上端に連設された上蓋5と、前記長辺側対向側板3、4の長さ方向両端に連設されたフラップ6、7と、前記底板2の長さ方向両端および上蓋5の長さ方向両端にそれぞれ連設され前記フラップ6、7の外面に重なって糊付けされる短辺側の対向側板形成用フラップ8、9と、前記後側の側板3との連設部に対向する前記上蓋5の長辺側側辺に連設され前記長辺側対向側板3、4の内、前側の側板4の上端外面に重なって糊付けされる封緘用フラップ10とからなる段ボール板製の包装箱である。

【0009】 さらに詳しくは、前記封緘用フラップ10は前側の側板4に重なった状態において横長さ方向中間部で上括り状に2本のカット線11が形成されており、前記上蓋5には前記カット線11の上端部に前端部が繋がって後側の側板3との連設部に至る互いに平行な2本のカット線12が形成されている。また、この互いに平行なカット線12で挟まれている上蓋5の板部5aの後端部と後側の側板3の上端との連設部にはカット線が形成されていないが、互いに平行なカット線12で挟まれている板部5aの両側の上蓋5の板部5b、5bは前記封緘用フラップ10の上端との連設部ならびに後側の側板3の上端との連設部にカット線13、14が形成さ

4

き、この状態で包装箱1内から内容物を取り出せば良
い。

【0013】ところで、図面に示す実施の形態では包装箱1は平面形状が長方形であるが、平面形状が正方形であっても良い。また、包装箱1は段ボール板の他、板紙などの紙材から作られていても良い。

【発明の効果】以上のように本発明によれば、カッターナイフなどの道具を用意することなく、紙製包装箱の開梱を容易に行なえ、作業効率の向上を図ることができる。

【図1】本発明の一実施の形態における包装箱の展開図である。

【図3】 同包装箱の上蓋を閉じて糊付けした状態を示す斜視図である。

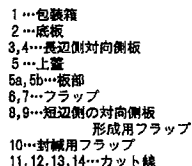
【図4】 同包装箱から内容物を取り出すために上蓋を切り開いた状態を示す斜視図である。

1	包装箱
2	底板
3, 4	長辺側対向側板
5	上蓋
5 a, 5 b	板部
6, 7	フラップ
8, 9	短辺側の対向側板形成用フラップ
10	封緘用フラップ
11, 12, 13, 14	カット線

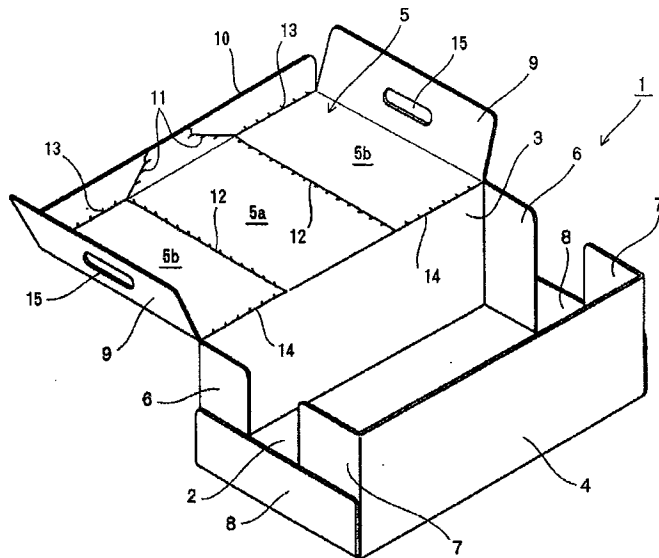
20

【0012】このような梱包状態の包装箱1から内容物を取り出すときは、前記封緘用フラップ10の前記上拡がり状の2本のカット線11をカットし、その後連続して前記平行な2本のカット線12をカットして、この平行な2本のカット線12で挟まれている上蓋5の板部5aを上方に開き、この板部5aの両側の上蓋5の板部5b、5bを前記カット線13、14をカットすることにより左右に開くことにより上蓋5を大きく開くことがで

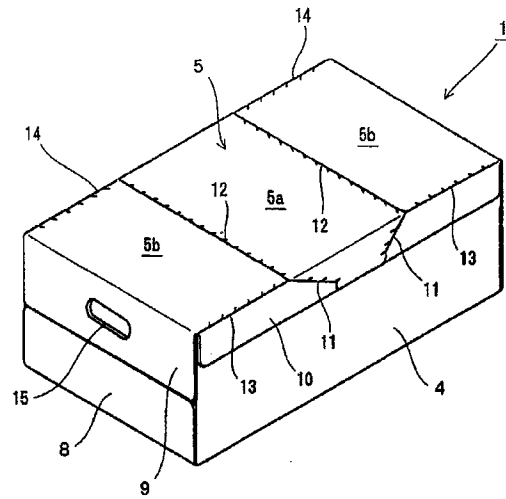
30



【図2】



【図3】



【図4】

